

株主通信

第171期中間報告書

2021年4月1日～2021年9月30日



株主の皆さまへ

平素は格別のご理解ご支援を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、当社では第171期（2021年4月1日から2022年3月31日まで）の第2四半期決算をとりまとめましたので、その概況をご報告申し上げます。

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症拡大に伴い引き続き厳しい状況となりました。政府の各種政策や海外経済の改善などにより、景気持ち直しの動きも期待されておりますが、今後も十分に注視していく必要があります。

エネルギー業界におきましては、電力・ガス小売り全面自由化が進展し、これまでのところ、当社グループ（当社および連結子会社）の都市ガス供給区

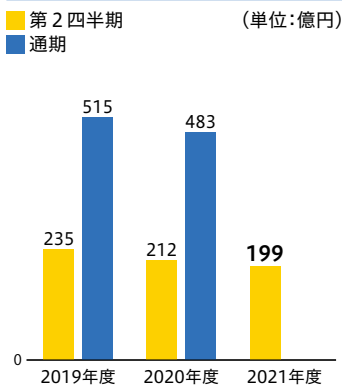
域への新規参入の動きはないものの、業種や地域の垣根を越えた事業者間の競争は今後一層激しさを増していくことが予想されます。また、2050年までに温室効果ガス排出量実質ゼロを目指す「2050年カーボンニュートラル」の達成に向けて政府から方針が示される中で、エネルギー業界のみならず社会全体として脱炭素化への気運が高まるなど、当社グループを取り巻く環境も大きく変化しつつあります。

こうした情勢下でありまして、当社グループは総力をあげて都市ガスの普及拡大、保安の確保および将来に向けた事業基盤の強化に取り組んでまいりました。

業績の状況につきましては、業績ハイライトに記載のとおりであります。中間配当につきましては、当期におきましてもその実施を見送らせていただく

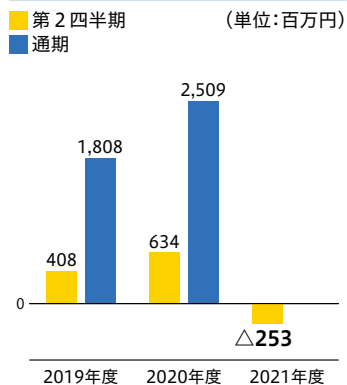
業績ハイライト

連結売上高



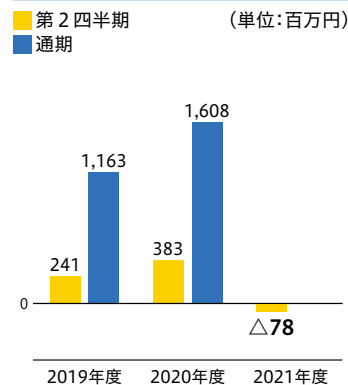
原料費調整に伴うガス料金単価の引き下げや春先の気温の影響による給湯・空調用需要の減少などにより、前年同期に比べ6.1%減の199億69百万円となりました。

連結経常利益



売上高の減少などにより、経常利益は前年同期に比べ8億88百万円減少し、経常損失2億53百万円となりました。

親会社株主に 帰属する当期純利益



親会社株主に帰属する四半期純利益は前年同期に比べ4億62百万円減少し、親会社株主に帰属する四半期純損失78百万円となりました。

(注) 2021年5月20日付「過年度の連結財務諸表等に関する誤謬の判明について」にて公表いたしましたとおり、2020年度において過年度の決算訂正を行っております。2020年度第2四半期以前の各数値は決算訂正後の数値であります。

ことといたしました。なにとぞご了承賜りますようお願い申し上げます。

当社グループを取り巻く事業環境は、一層厳しさを増していくことが予想されますが、新潟県内約45万件のお客さまへの都市ガスの安定供給を引き続き事業の根幹としつつ、お客さまのニーズに応じた付加価値の高いサービスを提供していくことで、地域のお客さまに信頼され、選択され続ける企業グループを目指してまいります。

株主の皆さまにおかれましては、今後とも格別のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

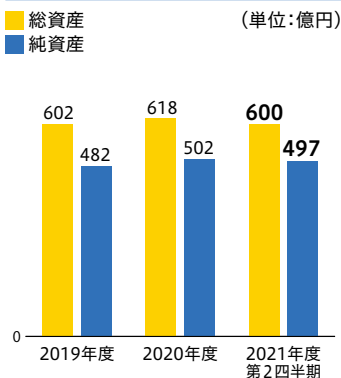


代表取締役社長

敦 井 一 友

2021年12月

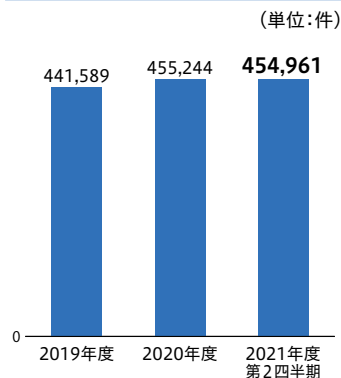
総資産・純資産



総資産は、売掛金残高等の減少などにより、前期末に比べ3.0%減の600億49百万円となりました。

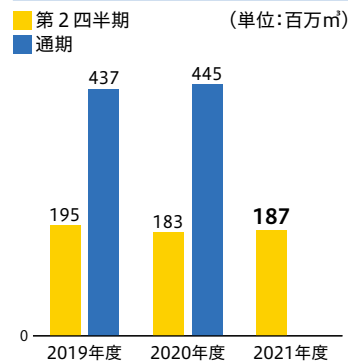
純資産は、利益剰余金からの配当金の支払いなどにより、前期末に比べ1.1%減の497億41百万円となりました。

お客さま件数



前期末に比べ283件減少の454,961件となりました。

ガス販売量



新型コロナウイルス感染症拡大の影響に伴い前年において減少していた業務用のガス需要が一部回復したことにより、前年同期に比べ2.3%増の187,536千m³となりました。

▶ より詳しい決算情報はこちらから

北陸ガス IR情報

検索




▶ 「妙高グリーンエネルギー株式会社」の設立について

当社、JFEエンジニアリング株式会社、株式会社INPEXの3社は共同で、新潟県妙高市からのガス事業の譲受けおよび上下水道事業運営委託業務の受託を目的に、妙高グリーンエネルギー株式会社（以下「妙高グリーンエネルギー」）を2021年8月に設立いたしました。

妙高グリーンエネルギーは、8月25日付で妙高市と「妙高市ガス事業譲渡に関する仮契約書」および「妙高市上下水道事業包括的民間委託仮契約書」を締結し、9月24日にガス事業譲渡の関連条例等が妙高市議会で可決され、本契約となりました。同契約に基づき、妙高グリーンエネルギーは、日本で初めてガス上下水道の3事業を一体的に担う複合ユーティリティ企業として、2022年4月1日から運営を開始する予定です。

妙高グリーンエネルギーは、ガス上下水道事業だけではなく、将来的には電気供給や再生可能エネルギー発電など低炭素・脱炭素社会の創造に向けて活動領域を広げ、人と自然が共生する持続可能なまちづくりに貢献してまいります。

新会社の概要

会社名	 妙高グリーンエネルギー株式会社
本社所在地	新潟県妙高市中川3番20号
代表者	赤澤 修一
事業内容	ガス事業、上下水道事業
資本金	4.5億円
設立日	2021年8月2日
出資者	JFEエンジニアリング株式会社 51% 北陸ガス株式会社 44% 株式会社INPEX 5%

▶ ガス料金等のインターネット口座振替受付サービスの開始について

当社は、2021年10月5日より、株式会社第四北越銀行と提携し、ガス料金等^{*1}のインターネット口座振替受付サービスを開始いたしました。

これまで、ガス料金等^{*1}の口座振替のお申し込みには「ガス料金等口座振替申込書」をお取り寄せいただき、必要事項をご記入のうえ郵送等によりご提出いただく必要がありましたが、本サービスの開始により、第四北越銀行普通預金口座（総合口座含む）のキャッシュカードをお持ちの個人のお客さまは、第四北越銀行の口座振替受付専用ページにてお客さま情報等をご入力いただくことで、より簡単に口座振替のお申し込みがペーパーレス、印鑑レスで可能となりました。

※1：ガス料金とあわせてご請求する警報器リース料金を含みます。

<口座振替お申し込みページ>

- URL：https://www.dhbk.co.jp/individual/service/other/internet_furikae.html（第四北越銀行ホームページ）
- 当社ホームページの「お手続き・お問い合わせページ」から上記お申し込みページへアクセスできます。



トップページ



お手続き・お問い合わせページ



口座振替申し込みページ

▶ 「北陸ガス2021ガス展」開催 ～県内全25会場・WEB会場にて開催～

10月1日から31日までの1ヶ月間、第41回「北陸ガス2021ガス展」を開催いたしました。

今年も大規模会場は使用せず、各ガスショップの他、各地区の商業施設等を利用した期間限定特設会場でのロングセールとし、WEB上でもガス展のPRと機器の申し込みを受付する仕組みを整えました。

昨年より販売が好調なガス衣類乾燥機は、実機をご覧になりながら説明員からじっくりと特徴などをお聞きになるお客さまが多くいらっしゃいました。また気温が低下するごとにガス暖房機への問い合わせが増えるようになりました。

特設会場では、気軽に展示品をご覧いただけるように配置したことにより、お買い物の帰りなどにお立ち寄りいただき、エネファームの機能やSiセンサーコンロの安全性、利便性などに耳を傾けていただきました。

【各会場の様子】



▶ 東京証券取引所 新市場区分「スタンダード市場」選択に関するお知らせ

当社は、2021年7月9日付で株式会社東京証券取引所より、2022年4月4日に移行が予定されている新市場区分における上場維持基準への適合状況に関する一次判定結果の通知を受領し、新市場区分「スタンダード市場」の上場維持基準への適合を確認いたしました。

この結果に基づき、当社は2021年11月5日開催の取締役会において、新市場区分「スタンダード市場」を選択する意向について決議いたしました。

持続可能な開発目標(SDGs)達成への取り組み

当社は、ガス事業を通じて地域社会の発展に貢献するとともに、業績の向上を図り、お客さまや株主の皆さまから常に信頼・評価され、選択していただける企業であることを経営の基本方針としています。
この基本方針のもと、地域に密着した事業を展開することで下記SDGsの達成に取り組んでいきます。

北陸ガス東港メガソーラー



地震対応訓練



天然ガスの普及拡大
エネファームの普及拡大
業務用コージェネレーション
システムの普及拡大
東港メガソーラー事業など

安定供給の確保
保安の確保



保安管理体制の充実、ガス設備の検査
保安教育、保安啓発活動
地震対策の推進など

お客さま先
における環境負荷の
低減

事業活動における
環境負荷の低減



掘削土の発生抑制・有効利用
消化ガスの利用など



コンプライアンス
教育の実施など



コンプライアンス
の推進

地域社会への
貢献



火育授業・食育授業
職場体験・工場見学の受入れ
地域行事・イベントの参加など



雇用を創出し、働き甲斐のある職場の提供
女性が活躍できる職場環境の推進
ワークライフバランスの推進など

働きやすい
職場環境の推進

消化ガス受入設備(蔵王供給所)



SDGs(Sustainable Development Goals: 持続可能な開発目標)とは、2015年に国連サミットで採択された2030年までの国際目標です。持続可能な世界を実現するための17のゴールから構成されており、「誰一人として取り残さない」ことを誓って、先進国と発展途上国が一丸となって達成すべき目標としています。

火育イベント



会社の概要

商号 北陸瓦斯株式会社
設立 1913年6月2日
資本金 24億円
主要な事業内容 1.都市ガスの製造、
供給および販売
2.ガス受注工事の施工
3.ガス機器の販売
ホームページ <https://www.hokurikugas.co.jp>

取締役および監査役

取締役会長 (代表取締役)	敦井 榮一
取締役社長 (代表取締役)	敦井 一友
常務取締役 (代表取締役)	津野 徹
常務取締役	高橋 嘉津夫
取締役	清水 崇之
取締役	古俣 祐輔
取締役	小出 清
取締役	高井 聡
取締役	小林 宏一
取締役	並木 富士雄
取締役	鶴巻 克恕
常勤監査役	森 裕之
監査役	西潟 精一
監査役	能勢 正敏

株式の状況

(2021年9月30日現在)

株主の状況

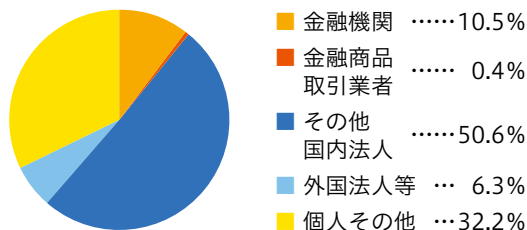
発行可能株式総数 9,600 千株
発行済株式の総数 4,800 千株
株主数 2,189 名

大株主

株主名	所有株数 (千株)	持株比率 (%)
敦井産業株式会社	530	11.05
公益財団法人北陸瓦斯奨学会	451	9.40
新潟ヒューム管株式会社	261	5.45
公益財団法人敦井奨学会	237	4.95
光通信株式会社	225	4.70
ピーエイチフォーフィデリティロープライズストックファンド (アリンパルオールセクターサブポートフォリオ)	149	3.10
公益財団法人敦井コレクション	142	2.97
株式会社第四北越銀行	137	2.85
三条信用金庫	118	2.46
株式会社パロマ	104	2.18

(注) 所有株数は千株未満を切り捨てて表示しております。

所有者別株式分布状況



株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで	
定時株主総会	6月中	
基準日	定時株主総会の議決権	3月31日
	期末配当	3月31日
	中間配当	9月30日
単元株式数	100株	
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目3番3号 みずほ信託銀行株式会社	

	証券会社等に口座をお持ちの場合	証券会社等に口座をお持ちでない場合 (特別口座の場合)
郵送物送付先	お取引の証券会社等になります。	〒168-8507 東京都杉並区和泉 2-8-4 みずほ信託銀行 証券代行部
電話お問合せ先		フリーダイヤル 0120-288-324 (土・日・祝日を除く 9:00 ~ 17:00)
各種手続お取扱店 (住所変更、株主配当金 受取り方法の変更等)		みずほ信託銀行 本店および全国各支店 みずほ証券 本店、全国各支店および営業所
未払配当金のお支払		みずほ信託銀行およびみずほ銀行の本店および全国各支店 (みずほ証券では取次のみとなります)
ご注意	支払明細発行については、右の「特別口座の場合」の郵便物送付先・電話お問い合わせ先・各種手続お取扱店をご利用ください。	特別口座では、単元未満株式の買取・買増以外の株式売買はできません。証券会社等に口座を開設し、株式の振替手続を行っていただく必要があります。

公告方法

当社のホームページ (<https://www.hokurikugas.co.jp>) に掲載します。
ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載して行います。

上場金融商品取引所	東京証券取引所
証券コード	9537



暮らしに、あったかい ひらめき。

北陸ガス株式会社

新潟市中央区東大通一丁目2番23号

TEL 025-245-2211

<https://www.hokurikugas.co.jp>



※この印刷物は、環境に配慮して FSC® 認証林及び適切に管理された森林から作られた FSC® 認証紙と植物油インキを使用しています。



Facebook

北陸ガス公式ページ




北陸ガス フェイスブック

<https://www.facebook.com/hokurikugas/>